

林業三年間の 経験と成長

有限会社 鈴木木材
益子 正和

私が林業の仕事を始めて三年が経ちました。

現在は集材、搬出作業を主にこなっています。

入社当初は覚えることが沢山あり、毎日が勉強の日々でした。初めてチェーンソーを使って作業をした時は、恐怖との戦いでした。そんな時に、「緑の雇用」の研修の場で、チェーンソー、刈払い機、高性能林業機械の実技講習があり、実際に自分で目立てやメンテナンス、機械の操作などの基礎をしっかり勉強することが出来てとても嬉しく感じました。

しかし、一年目ではチェーンソーの目立てが上手に出来ず、玉切りの時にも曲がつて切ってしまったりして、一本の木を造材するにも結構な労力を費やしていました。

そこから成長するために、二年目の研修では、ベテランの指導員の下で一緒に行動しながら、チェーンソーの操作方法、ワイヤーでの集材

時のロープのかけ方などの技術や効率的な作業方法を学び、いかに安全で、かつ綺麗に作業が出来るかを意識しながら仕事をしました。

今では作業範囲も広がり、毎日が充実しています。また林業機械での作業も多くなり、絶対に事故を起こさないという気持ちで毎日作業しています。そして次の作業行程を考えながら、集材作業時にはハーベスタが造材作業をしやすいようにとか、搬出の積み込み時には土場管理がやりやすい様に積んだりするなど、常に効率を考えて作業を行なっています。

今後は、三年間の研修で学んだことや日々の作業で経験したことを活かしながら、技術向上を目指して成長していきたいと思っています。

